



D1

CD/SACD Player

NEW!!

D1 CD/SACD Player

¥3,200,000 (税別) 標準タイプ(アナログ2ch出力ボード、デジタル2ch出力ボード搭載)

追加ボード(オプション)

アナログマルチチャンネル出力ボード ¥210,000/1枚(2ch分・税別)、デジタルマルチチャンネル出力ボード ¥210,000/1枚(2ch分・税別)

クロックインターフェースボード ¥130,000(税別)

精緻を極めた 独創のCD/SACDプレーヤー スイス CH Precision のデビュー作 “D1” 登場!!



CH Precision を率いる Florian Cossy と Thierry Heeb が、これまで蓄積してきた技術とノウハウを全て注ぎ込んで完成させたのが “D1” CD/SACDプレーヤーです。究極のサウンドパフォーマンス、優れた拡張性、時代を超えた美しいデザイン、最高のプロダクトクオリティを誇る D1 は、まさにハイエンドプレーヤーの新基準を作る製品といえるでしょう。

Esoteric 製VRDSメカニズム搭載

D1 は、Esoteric 製 VRDS-NEO メカニズムを採用しています。ディスク全体をクランプすることで振動を抑制し、極めて精度の高いデジタルデータの読取りが可能です。メカニズムはさらなる防振対策として、15kgもの重量の真鍮製ベースシャーシ上にマウントされています。

優れた拡張性を持つモジュール構成

D1 は、優れた拡張性を発揮するモジュール構成のアーキテクチャを採用しています。標準仕様ではアナログ2ch出力ボードとデジタル2ch出力ボードが1基ずつ取り付けられていますが、オプション出力ボードを追加することによりアナログ/デジタルマルチチャンネルにも対応します。またクロックボードを追加することで、外部クロックと同期させるほか、D1の高精度クロックと外部の機器を同期させることができます。

デジタル出力ボード/CHリンク

D1 は、追加でデジタルマルチチャンネル出力ボードをインストールすることによりデジタルマルチチャンネル出力を行うことが可能です。SACDの2ch/マルチch出力のDSD信号はPCM 44.1kHz/16bitにダウンコンバートされます。

デジタル出力ボードは、同軸(RCA)、XLR(AES/EBU)、TOSLINKのほか、専用ケーブルを用いた独自のCH LINKでC1 D/Aコンバーター(2011年2月発売予定)と接続することが可能です。CH LINKは1本のケーブルでオーディオ信号、クロック信号、コントロールデータを高精度に伝送することが可能。PCM(768kHz,32bitまで)とDSDフォーマットをサポートしています。

アナログ出力ボード

アナログ出力のためのD/Aコンバーター部には、Wolfson社製D/Aチップを1chあたり2個使用。ディスクリート構成のデュアルモノラル出力ステージに送られます。またPCMとDSDで独立してデジタルフィルターを選択することができます。

- ・PCMフィルター:5種類
Minimum Phase [low ringing(出荷時設定)/apodising/sharp]
Linear Phase[apodising/sharp]
- ・DSDフィルター:4種類
Minimum Phase(出荷時設定)
Linear Phase[low ringing/trade-off/sharp]

D1 は、追加でアナログ出力ボードをインストールすることで、SACDマルチチャンネル出力が可能になります。アナログ出力はシングルエンド(RCA)、バランス(XLR)双方に対応しています。

振動をシャットアウトする、美しく堅牢な筐体

正確なピックアップを妨げる振動をいかに制御するかということとは、プレーヤー設計にあたっての大きな命題です。D1 は高品質のアルミニウム、真鍮、スチールの異種金属を巧みに組み合わせ合わせたシャーシを採用することで、振動を効果的に逃がすことを可能にしています。ボトムシャーシは重量のある真鍮削り出し。フロント、サイド、トップパネルは肉厚のアルミニウム削り出しとしています。各パネルは、スイスの高級時計ブランドも加工を委託する部品メーカーで丁寧に削り出されます。隅々にまで行き届いたフィニッシュの美しさはまさにハイエンドにふさわしいクオリティです。

高水準の振動制御技術を採用したスパイクフット

D1 は4つのスチール製脚を持ちますが、それぞれの脚にはスパイクフットが内蔵されており、スパイク接地とすることで振動を効果的に逃がすことができます。スパイクは、D1のトップパネルから専用の工具を用いて高さ調節が可能です。さらに脚を上下に貫くシャフトには、D1とその他のCH Precision 製品を重ねて使用する際に使用できるカバーが付属。このシャフトカバーを取り付けた状態でスタックすることにより、上下の機器が生み出す振動をトータルで制御し、振動が機器に及ぼす影響を最小とすることができます。

D1 拡張オプション使用例

クリーンで潤沢な電源供給を可能にする電源部
D1 は、各部に最適な電源供給をするために、独立したウルトラローノイズレギュレーターを搭載しています。特にノイズに敏感なマスタークロック用電源には細心の注意が払われ、ノイズ源となるデジタル部やモーター制御部から完全に隔離されています。また D1 は、スタンバイ時用のスタンバイトランスを別に搭載。使用しないときはスタンバイモードにすることで消費電力を最小に抑えることができます。全てのトランスは、ボトムシャーシから制振材を介してフローティングされており、トランスの振動が他の部分に影響を与えません。

さらに D1 は、オプションで外部電源を使用することが可能です。CH X1 外部電源ユニット(発売予定)を接続することで、D1 の内部電源はスタンバイトランスを除いてオフになります。これにより、電源部が放射する電磁ノイズによる回路への影響を完全にゼロにすることができ、理想的な動作が可能となります。

クロックインターフェースボード(オプション)
クロックボードをインストールすることで、外部クロックジェネレーターを使用可能なほか、D1 の高精度クロックを外部機器に供給することが可能。機器同士でクロックをシンクロさせることができます。CH Precision の製品同士はCH LINK を用いることで、位相補正が可能なハイスピードクロックインターフェイスとなり、さらに精緻な信号を出力することができます。

大型有機ELディスプレイ採用
D1 は、視認性に優れた大型のAMOLED(アクティブマトリクス方式有機EL)ディスプレイを採用しています。また高度なソフトウェアにより、フォーマットによるディスプレイ色変更や輝度調整など、大変フレキシブルな設定が可能です。

快適な操作を実現するデュアルコンセントリックノブ
D1 の多彩な機能の全ては、フロントパネルにあるシンプルなデュアルコンセントリックノブでコントロールすることが可能です。フィーリングにもこだわり、スムーズで快適な操作を実現しています。

USB/Ethernet インターフェイス
D1 はUSBポートを搭載しており、将来のソフトウェアアップデートにも柔軟に対応します。

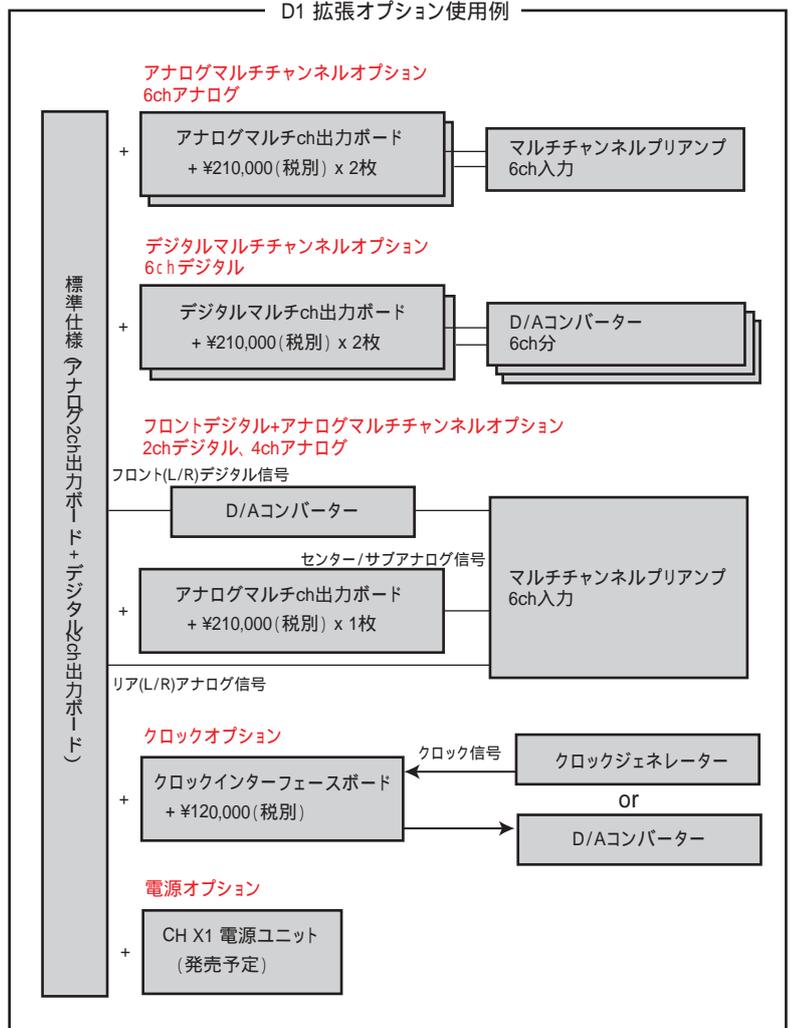
リモコン搭載
コンパクトでスタイリッシュなリモコンを付属しています。リモコンは、使用しないときはD1のサイドパネルに取り付けることができます。



D1 リアパネル(標準仕様)



リモコン



D1 Specifications

サポートディスク	CD, CD-R, CD-RW: ステレオ PCM 16bit, 44.1kHz SACD シングルレイヤー/ハイブリッド ステレオ / マルチチャンネル DSD 1bit/2.8224MHz
ディスプレイ	アクティブマトリクス方式有機ELディスプレイ
消費電力(アイドル時)	<1W
消費電力(動作時)	30W average
寸法・重量(最大寸法)	440mm(W) x 440mm(D) x 120mm(H)・32kg
デジタルオーディオ出力	
CH LINK	ハイディフィニション非圧縮オーディオ 44.1kHz/16bit(CD), 2.8224MHz/1bit(SACD)
AES/EBU(XLR)	XLR 2.5Vp-p, 110 , 44.1kHz/16bit(CD & SACD)
SPDIF(RCA)	RCA 0.5Vp-p, 75 , 44.1kHz/16bit(CD & SACD)
TOSLINK	44.1kHz/16bit(CD & SACD)
アナログオーディオ出力	
バランス出力	XLR
シングルエンド出力	RCA
出力レベル	2Vrms(バランス), 2Vrms(シングルエンド)
周波数レスポンス	DC-50kHz(-3dB, SACD, バランス/シングルエンド) DC-20kHz(CD, バランス/シングルエンド)
ダイナミックレンジ	120dB(SACD, バランス/シングルエンド) 96dB(CD, バランス/シングルエンド)
S/N	121dB(SACD/CD, バランス/シングルエンド)
THD+N	<0.0015%(SACD, バランス/シングルエンド) <0.002%(CD, バランス/シングルエンド)

クロック入出力(クロックボードオプション時)

ワードクロック入力	BNC, 0.5Vp-p to 5Vp-p, 750 , 44.1kHz
ワードクロック出力	BNC, 2Vp-p, 750 , 44.1kHz

リモコン付属

CH Precision Brand History

CH プレシジョン ブランドヒストリー

CH Precision (CH プレシジョン) は、2009年5月スイスのローザンヌに近い Bussigny (ピュシニー) に、Florian Cossy と Thierry Heeb 両氏により設立された新しいブランドです。ブランドは新しいものの彼らの生み出すプロダクトは、膨大な経験と先進的な技術、そして洗練されたもの作りに裏打ちされています。彼らはそれぞれハイエンドオーディオブランドで研鑽を積んだ後、共同でハイエンドオーディオの開発を請け負うOEMメーカーを設立。長年世界の名だたるハイエンドオーディオブランドの製品を設計してきました。それらの製品は数々の賞を獲得し、Florian と Thierry は、ハイエンドオーディオの影の立役者であり続けました。その彼らが自らブランドを興したのが CH Precision なのです。

テクノロジーがオーディオという再生芸術を前進させると、CH Precisionは考えます。CH Precision の製品設計は Florian と Thierry により行われ、Florian はハードウェア設計を、そして Thierry はDSPなどのソフトウェア設計を担当しています。彼らは今まで培った豊富な経験の全てを注ぎ込み、究極のオーディオパフォーマンス、時代を超えた美しいデザイン、洗練されたフィニッシュクオリティが高度に結実した製品を開発しています。

スイスが世界に誇る高級時計。その工房が集まる "Watch Valley" の中央で、CH Precision 製品は製造されます。パネルワークは、高級時計のパーツを製造するメーカーで、そして回路の製造とアッセンブリーは、電力や化学業界など高信頼性が求められる技術機器専門メーカーで行われます。CH Precision 製品が持つ、芸術作品の域ともいえる精緻なフィニッシュは、まさにスイスのクラフトマンシップの賜物といえるでしょう。

CH Precision Key People

CH プレシジョン キーピープル

Florian Cossy (フロリアン・コッシー)

1973年スイス生まれ。EPFL (スイス連邦工科大学) でエレクトロニクスを専攻。大学卒業直後からハイエンドオーディオブランドで設計エンジニアとして勤務。退社後、Thierry と共同でハイエンドオーディオのOEMメーカーを設立し、ハードウェア設計を担当した。設計した製品は数々の賞を獲得した。2009年、彼は Thierry と共同で CH Precision を設立。全てのハードウェア設計を担当している。

Thierry Heeb (ティエリー・ヘーブ)

1970年スイス生まれ。ローザンヌ大学とスイス連邦工科大学で数学を専攻。卒業後、スイス軍の暗号解読のスペシャリストとして従事。その後ハイエンドオーディオブランドで新製品開発コンサルタントとして勤務。退社後、Florian とともにハイエンドオーディオのOEMメーカーを設立。DSP開発を指揮し、2004年に同社のCEOに就任する。2009年、彼は Florian と共同で CH Precision を設立。全てのDSP設計を担当。著書多数。

CH Precision 製品発表予定

CH Precisionの最初のラインナップはハイエンド "1" シリーズです。

- | | |
|-----------|--|
| 2010年11月 | "D1" CD/SACD プレーヤー発売。"C1" D/Aコンバーター プロトタイプ発表。 |
| 2011年 2月 | "C1" D/Aコンバーター発売。
C1 D/Aコンバーターとクロック同期可能なD/D (USB to SPDIF) コンバーター "CH.u" 発売 |
| 2011年11月 | "A1" パワーアンプ発売。"C1" ネットストリーミングオプション発表 |
| 2012年(予定) | "L1" プリアンプ、"P1" フォノイコライザー発売 |

2012年末または2013年はじめ(予定)に、ウルトラハイエンド "0" シリーズ発表。"C0" D/Aコンバーター発売。"0" シリーズはコスト度外視で設計されており、オーディオ製品の究極のクオリティを追求したものです。

2013年末または2014年はじめ(予定)に、コストパフォーマンスの高い "2" シリーズ発表。